

教科	科目	単位数	学年	学科	区分	使用教科書等
工業	製図	2	2	機械	必修	機械製図 実教出版

1. 学習の到達目標

製図に関する日本工業規格及び製図についての基礎的な知識と技術を習得させ、製作図等を正しく読み取り、図面を構想し作成する能力と態度を育てるとともに、実際の現場において、活用できる能力を育てる。また、「機械設計」「工業技術基礎」などの教科との関連性を深めながら習得する。

2. 学習の評価

評価の観点	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
評価の規準	各種機械や部品の製作図には興味・関心があり、図面の作成には、意欲的に取り組み、主体的に学習する態度を身につけている。	図面などの作成には創意工夫（思考・判断）し、機械製図に関する知識と技術を活用しながら表現する力を身につけている。	各種機械や部品の製作に使用される図面などの作成に関する基礎的・基本的な知識と技術を習得するとともに、図面を正確に作成できる力を身につけている。	日本工業規格（JIS）を踏まえた機械製図に関する基礎的な知識を理解し、各種機械や部品の製作に使用される図面等の役割や作図法などを身につけている。
評価の方法	出席状況、授業態度、学習の取り組み状況、課題などの提出物の状況、図面、定期考査、基礎製図検定試験の結果などを総合的に判断して評価する。			

3. 教科からのメッセージ

今日、わたしたちの日常生活や産業において、機械工学の技術がいろいろな形で取り入れられている。本教科は「製図」を基礎から学習し、ネジ・ボルト・ナットなどの規格や図面の表し方、寸法や材料記号等の記入の仕方などを学習し、基礎製図検定は全員受験する。製品の開発設計や生産（製作）現場で生かせるような知識を習得し、「ものづくり」の素晴らしさに展望をもって取り組む能力を身に付けてほしい。

2年（機械製図）年間指導計画表

単位数（2単位）

教科書（実教出版）

目 標		製図に関する日本工業規格及び製図についての基礎的な知識と技術を習得させ、製作図等を正しく読み取り、図面を構想し作成する能力と態度を育てる。	
月	大項目	中項目	時数
4	製図の基礎 製作図	1. 展開図（演習）	4
5		2. 寸法線・補助線等の記入法	2
6		3. 投影図・等角図	4
7		4. 寸法及び補助記号の記入法	2
		<図形の表し方>	
		1. 補助投影図	4
		2. 断面図（全・片側）	4
		3. 特別な図示法	4
9	機械要素の製図 製図実習	1. ねじ（ボルト・ナット）	2
10		2. 軸・軸継手	2
		3. 歯車等	2
11		1. 軸受・軸受蓋（製図例8・9）	1 2
12		2. ボルト・ナット（製図例11）	1 2
1	製図実習	1. フランジたわみ軸継手（製図例14）	1 2
2		2. まとめ（復習）	4
3			